



市長の
いけだ *Diary*

池田市長 瀧澤 智子

早いもので、今年度も終わりを迎えようとしています。この時期は今年度の集大成ともいえるイベントの実施や事業の最終回を迎えています。

その1つが「いけだ防災フェア」です。五月山体育館では楽しく学べる防災プログラムを実施し、五月山公園では自衛隊による炊き出し訓練や日清食品のキッチンカーによるミニチキンラーメンの提供、消防のレスキュー体験、各種車両の展示を行いました。当日は自主防災組織、渋谷中学校、企業、組織、団体、大学生の皆さんにもご協力をいただき、大規模な体験型イベントができました。今年は阪神・淡路大震災の発災から30年という節目の年です。多くの方に、防災の意識と災害への備えを再認識いただけたと考えています。

次に女性の挑戦を後押しする「Ikeda Women's Network(IWN)」は全5回のプログラムを終え、皆さんからチャレンジ宣言をしていただきました。ご自身の経験を生かし課題の解決をめざされる多くの企画があり、特に優秀であった2人にチャレンジ支援金をお渡ししました。修了書を交付し幕を閉じ

ましたが、皆さんの新しい一歩の始まりですので、伴走できる体制を作っていきたいです。早速、参加者同士での交流や創造が生まれようとしており、今後の展開が楽しみです。

さらに「いつもyobouいけだ」という、いつまでも健やかで心豊かな生活ができるための取り組みの中の「学びの場」のプログラムの1つに「男・本気のスープ教室」があり、全6回の最終回の様子を視察しました。最終回は受講者の皆さんが何を作りたいかを考え、班に分かれ役割を決めて作業をされていました。皆さんとても真剣に取り組まれる中で、途中、講師に味の確認やアドバイスを求めている姿がとてもほほえましく感じました。受講者は60代、70代の方が多くですが、最高齢は85歳！私もいつまでも学ぶ姿勢というのは大事にしたいと思いました。

今年度も多くの事業を実施できたわけですが、その背景には多くの職員がアイデアを出し、準備、運営に携わっています。私の想いを形にしてくれたことに感謝の気持ちを持ち、新年度に向けての歩みを進めていきたいと思えます。



IWNチャレンジ支援金交付式・修了式の様子

目次

- 2～5 特集
創建 100 周年！
いけだピアまるセンター
- 7～10 IKEDA TOPICS
イケダ万博を開催／スポーツ教室受講者を募集／池田五月山さくらまつりを開催
／休日急病診療所の歯科診療を終了／インターネットで市内の自治会区域が確認
できます／IWNチャレンジ支援金の交付対象者が決定／狂犬病予防集合注射の実
施／3月は自殺対策強化月間
- 11 みんなで取り組む総合計画
- 12～17 イベントガイド
- 18～22 子ども向け イベントガイド
- 23 Pick up 図書館
- 24 市民文化会館の催し
- 25 暮らしの窓口／健康相談Q and A
- 26～37 お知らせ information
26～28 ▶ 募集、28 ▶ 身近な手続き、28～30 ▶ 税金・保険年金、
30～32 ▶ 福祉・健康、33 ▶ 高齢者、33～34 ▶ 子育て、34～35 ▶ 環
境・安全、36～37 ▶ 相談・その他
- 38 伝言板
- 39 Photoニュース

● 今月の表紙 ●



いけだピアまるセンターの coworkingスペースの利用者が仕事をしている様子を撮影しました。特集では創建100周年を迎える同センターの建物の歴史を振り返るとともに、現在の魅力をお伝えします。

広報 いけだ

2025. 3



池田市ホームページ
<https://www.city.ikeda.osaka.jp/>